

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成16年1月26日

上場会社名 株式会社マースエンジニアリング （コード番号：6419 東証第一部）
 （URL <http://www.mars-eng.co.jp>）
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 古宮重雄
 責任者役職・氏名 執行役員経理部長 佐藤敏昭 （TEL：(03)-3352-8555）

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項
 売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 売上高

（注）百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

	百万円	%
16年3月期第3四半期	23,503	31.8
15年3月期第3四半期	17,826	-
（参考）15年3月期	24,959	-

- （注）1. 当該四半期は四半期業績開示の初年度であります。なお、前年同期の実績については月次の実績を参考に開示しております。
 2. 売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。
 3. パーセント表示は前年同四半期比増減率を表示しております。

[売上高に関する補足説明]

当該第3四半期におけるわが国経済は、企業の設備投資の拡大や株価の持ち直しなど緩やかに回復基調をたどっております。

このような状況の中、パチンコホールを取り巻く経営環境は、個人消費の低迷と、業界で懸念事項となっていた爆裂機と呼ばれる射幸性の高いパチスロ機の問題で人気機種が検定取消しとなったため、台入替による設備投資の増加や一部のファン離れなど、厳しい状況が続いております。

こうした中で、当社グループは、プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムにおいて、顧客ニーズを先取りした多様な製品を取り揃え、積極的に販売しましたところ、厳しい販売競争の中で市場から高い評価を獲得し、導入実績は毎月次において24ヶ月連続でトップとなり、12月末現在の導入実績は累計で1,204店舗となりました。また、パチンコホールが大型化していることや前期から今期にかけて新たに市場投入した新製品が市場で評価され、販売が促進されたことにより1店舗あたりの売上単価が増加し、当該第3四半期の売上実績は340店舗（前年同期比16.8%増）となりました。

この結果、当該第3四半期の連結売上高は、235億3百万円（同31.8%増）となりました。

<事業の部門別販売実績>

（単位：百万円）

事業の部門別の名称	当該四半期	前連結会計年度
	〔自 平成15年4月1日〕 〔至 平成15年12月31日〕	〔自 平成14年4月1日〕 〔至 平成15年3月31日〕
パチンコ関連事業部門	23,106	24,438
その他事業部門	397	521
合 計	23,503	24,959

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象該当する事象は発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	30,369	7,859	4,142	359 15

当該四半期の売上高は概ね当初予想どおり順調に推移しております。前回公表（平成15年11月17日）の通期の業績予想についても修正はありません。

（参考）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	25,171	5,784	2,963	256 04

以上

（注）業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。